

川口市立医療センター広報紙

はな みず き
花水木

特集

2021.7.1 Vol. **50**

画像診断センターの業務紹介



撮影場所：グリーンセンター



川口市立医療センター「みみたーず」
イメージキャラクター
“よく聴き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い医療を提供します

新型コロナウイルスワクチン接種情報

接種状況 川口市では迅速な接種を目指し、新たな接種体制「川口モデル」として、大規模病院のほか診療所等で個別接種を、旧川口そごうで集団接種を実施しています。当センターでは、担当する市内医療従事者(センター職員含む)の接種を終え、現在は高齢者等の個別接種を行っています。

ワクチンの特徴 ワクチンは、ウイルスの持つ遺伝子を体内に入れ、自分の筋肉細胞でウイルスの一部(トゲの部分)を作成させ、それに対し抗体を産生させるものです。ワクチン接種が原因で、新型コロナに罹患することはありません。

予約～接種までの注意点 ワクチンは、3週間後に2回目を接種するので、同じ曜日で受けることを前提に予約をしてください。薬を服用中のかたは、予約前に主治医にワクチン接種の可否を確認してください。

過去に果物や薬、化粧品等で、顔や首(のど)が腫れた、じんま疹が出たことなどの経験がある場合は、接種の際に予診担当の医師にお申し出ください。これらの症状があっても接種は受けられますが、接種後の観察時間を通常の15分から30分にする場合があります。

また、接種当日は肩を出しやすい服装でお出かけください。

副反応 当センターの医療従事者約1,400名の副反応報告では、1回目の接種では接種部位の痛みが80%以上の人に見られたものの、発熱やだるさなどの全身症状は10%程度でした。しかし、2回目は約半数の人に全身症状が出現しました。これは、1回目のワクチンで作られた抗体が、2回目のワクチンにより作られたトゲの部分に反応して、それらを排除しようと戦ったために全身反応が強く出たものです。

症状の程度・期間は人によって異なりますが、長い人でも1週間程度で消失しますので、ご安心ください。発熱や関節痛、だるさが強いときは市販の解熱鎮痛剤を服用しても大丈夫です。ただし、咳やのどの痛み、味覚・嗅覚の異常などを感じた場合は、ワクチンとは関係なく、新型コロナウイルスに感染している可能性が否定できませんので、クリニック等を受診してください。

画像診断センターの業務紹介

画像診断センターでは、最新の検査装置を備え、X線を用いた検査（X線撮影、CT検査、血管撮影検査など）、MRI検査、核医学検査（RI）などを行っています。

質の高い画像情報を提供するために、放射線科医師や各科専門医と診療放射線技師が協力して検査を行っています。

また、地域医療支援病院として、地域医療機関からの検査も積極的に受け入れています。

検査内容

●一般撮影

いわゆるレントゲン撮影です。胸部、腹部、椎体、上肢、下肢などを撮影します。

●乳房撮影（マンモグラフィ）

乳房専用の装置を使い、乳房を挟んで圧迫するX線検査です。乳がんの早期発見のために行われます。

●パノラマ歯科用撮影装置

一枚の画像に全ての歯を撮影し、歯の様子やあごの関節の状態を見る検査です。

●骨密度測定（骨塩定量）

X線を用いて腰椎・大腿骨頸部の骨量（骨の密度）を測定し、主に骨粗鬆症を診断する検査です。

●X線TV（X線透視）

X線を連続的に照射して画像化します。バリウムを用いた食道・胃・大腸などの消化管の検査や、整形外科では骨折・脱臼等の検査などを行います。

●CT検査

X線を360度方向から照射して身体の断面の画像を撮影します。画像処理技術の発展により、様々な断面の画像や3次元画像などの作成も可能です。

●血管撮影検査

カテーテルと呼ばれる細い管を足の付け根や手首等の血管から挿入し、X線画像を見ながら目的の部位まで進めていきます。そこから造影剤を注入し撮影することにより、血管の形態や血流の状態を観察、診断する検査です。また、脳動脈瘤に対する治療や心筋梗塞に対する治療等も積極的に行われています。

●MRI検査

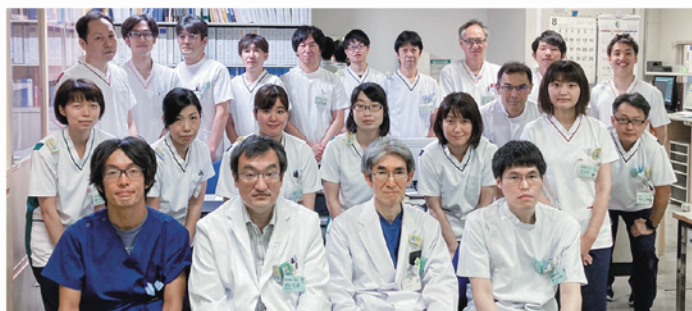
X線は使用しませんので被曝はありません。強力な磁気と電波を用いて身体の断面を撮影します。大きな音のする検査で、検査時間は部位や目的によって異なりますが、20分から60分程度です。心臓ペースメーカーを装着したかたや、手術等で体内に金属があるかたは検査を行えない場合があります。

●核医学検査

RI検査とも呼ばれています。放射性医薬品を患者さんに投与して、そこから放出される放射線の分布を画像にする検査です。血液分布や腫瘍の検出、炎症部位の特定、血流測定などが行えます。

近年、放射線診療に関する医療技術・機器の進化は目覚ましく、放射線診療の業務は高度化、複雑化しています。

このような状況において、常に最良の画像を提供し、患者さんのニーズに寄与するために、各部門に検査装置等の専門資格や専門知識を有するスペシャリストを配置して安全かつ価値の高い画像診断を実施します。



最新のMRI装置に更新しました

画像診断センターでは、県内初となるPhilips社製のIngenia Ambition 1.5TMRIを導入し、令和3年6月から検査を開始しました。

検査時間の短縮と画像の高画質化

MRI検査は、従来20分程度の撮影時間を要していましたが、今回更新した装置は、Compressed SENSE（高速撮像技術）により画質を維持したまま撮影時間を最大で半分まで短縮することが可能となりました。

撮影時間が短くなれば、診断に必要な画像が素早く医師に届くことから、特に救急医療においては治療開始までの時間の短縮につながります。

また、画質が向上し、より解像度の高い画像を撮影することができるようになりました。

さらに、サーバー型ワークステーションを導入し、院内の電子カルテ50端末から画像処理や解析結果の確認ができ、迅速な情報共有が可能となりました。

検査ストレスの軽減

MRI検査は、円形のマグネットの中を患者さんがくぐるため、狭い場所が苦手なかたには圧迫感がありました。今回の装置は、開口径が従来の60cmから70cmに広がったため、閉塞感が軽減されています。また、低反発マットレスの採用により同じ体位を10分以上維持する場合でも、患者さんの快適性を保ち安定した検査ができます。

検査室内も、LED照明の採用により時間帯等で色彩を変更することができるようになりました。機器はもちろん室内にも工夫をすることで、閉塞感が強いMRI検査のストレスを軽減し、安心して検査を受けていただけます。



地域医療の 仕組み



専門的な治療や
特殊な検査

日常的な
診察



医療センター
(地域医療支援病院)

紹介 重症
治療後 紹介



お近くの診療所など
(かかりつけ医)



バス案内(国際興業バス)

川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス(川口市コミュニティバス)

みんななかまバス

埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)

総合受付の「5」会計受付にてパーキングカードを販売しております。
(1,000円券・3,000円券)

駐車台数 約600台収容



ホームページ

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦

編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)